

新しい地震対策を考える専門家向けセミナー 第2ラウンドのご案内

〈セッション6 活動期の地球環境と収震〉

今世紀に入り、地球環境が再び活動期に入り、豪雨、台風、地震に加え、感染症が猛威を振るっています。20世紀後半の静穏期に急成長した現代都市と経済社会システムは、その脆弱さを露呈し根本的な変革を迫られています。

昨年の専門家向けセミナーでは、5回に分けて、SRFとMTDという新しい診断と補強の方法をご紹介します。適用事例、東日本大震災、熊本地震等での実証についてご紹介しました。SRFは、しなやかな弾性材料で柱や壁を被覆して損傷を抑え復元力を確保する方法です。万一、柱の内部が粉々になるような激しい揺れを受けてもフロアを支えるフェイルセーフな機能と、損傷を抑え、使用継続性を確保する効果があることが実験、震災で実証されています。MTDは、建物の常時の揺れを捉えて構造性能を評価し欠陥を見つける方法です。本年の第2ラウンドでは、数回に渡り、SRFとMTDを用いた新しい構造と評価法の原理と内容、これら新築に用いる方法と効果について詳しくご説明します。また、既存の改修について、倒壊防止と損傷制御の観点からの事例をご紹介します。本セミナーが、年々厳しくなる自然環境に対する具体的な対策と、将来に向けての新しい街づくりをお考えいただく機会となることを願っております。

日時

2021年4月22日(木)
セミナー：13:30～14:30
個別相談：14:40～

テーマ

〈セッション6〉
活動期の地球環境と収震

過去開催分は当社ホームページより視聴いただけます。

ご視聴はこちら https://www.sqa.co.jp/opinion/seminar_application.html

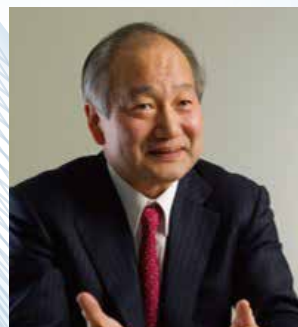
開催方法

オンライン（ZOOM）

申込方法

当社ホームページの専用フォームよりお申込みください。

お申込みはこちら https://www.sqa.co.jp/opinion/online_seminar_form.html



講師
構造品質保証研究所株式会社
代表取締役社長

五十嵐 俊一

工学博士
日本建築学会会員
地盤工学会正会員
コンクリート工学協会正会員

